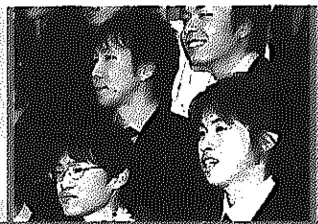

広報 しろね

みんなで考える市町村合併
市民説明会Q&A

6. 1
2003　No.639

広報しろねは、ホームページでもご覧になれます
http://www.city.shirone.niigata.jp

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

CONTENTS（もくじ）

みんなで考える市町村合併……………2
市政クリップ……………………………3
シリーズ・消防団………………………4
まちの話題………………………………5
お知らせ…………………………………6～11
みんなのページ…………………………12
ズームアップ……………………………14
表紙　成人式（５月３日）

成人式終了直後、晴れ晴れとした笑顔の４人。

ズームアップ
ZOOM UP

ステージ上の成人式
成人式実行委員

時間が合わない。集まっても意見が出ない。この四人でやっていけるのかな…。不安だらけの始まりでした。

新成人の荒木清香さん（万年）、川崎智美さん（和泉）、石田聡さん（新町）、和田直樹さん（七軒）は、五月三日に行われた成人式の企画・運営をする実行委員として活動してきました。

それぞれ全く違う生活を送る四人。何とか時間を調節しながら計六回の会議を開きました。今年三月に第一回の会議が開かれ、四人が初めて顔を合わせました。緊張していることもあり、意見はほとんど出ず、気まずい雰囲気が会議室に流れました。しかし回を重ねるうちに、次々と積極的にアイデアが出されるようになりました。四人が目指したのは「参加者全員が楽しめて、白根のことをもっと知ってもらえる成人式」。出した答えは『抽選会』でした。「商品は形に残るもの以外に、大凧に名前を入れられる券や一時間市長券があれば、市や行政に興味を持ってもらえる」。四人が一つになりました。

当日の抽選会、「しらけたらどうしよう」という不安を吹き飛ばすように、笑い声が会場中に響きました。それを見て、ステージ上でほっとした表情を浮かべる四人。「予想以上に盛り上がって良かった。肩の荷が下りた感じ」と、やっと笑顔を見せてくれました。

「限られた時間で、これだけできたことは、自分たちの自信につながる。やって良かった」と声をそろえる四人。ステージ上で迎えた成人式は、深く思い出に残るものとなりました。

あなたも凧博士

鳥の凧（フランス）

文・田村和雄（しろね大凧と歴史の館運営委員会委員長）

二〇〇一年五月、サンフランシスコ国際凧揚げ大会に、白根から三人で参加しました。パリのピエール・ファブレも来ていました。再会を喜び合いました。自称カイトアーティストのピエールは、日本の凧の大ファン。その理解を深めるために、日本語もマスターしたほどです。白根にも五回ほど訪れています。世界中に出回っている凧の専門誌に、凧合戦のリポートを載せたり、大凧の館を紹介してくれたりと親白根派の凧師です。

鳥の形の凧です。魚だという人もいます。十五メートルもの尾が付けられます。それが優美に舞うと「キレイだなあ」と見とれていました。赤、白、黒を基調に作られています。凧骨はカーボン繊維です。「館に欲しい」「いいよ」と気軽に承知してくれました。

鳥だとばかり思い込んでいましたので、魚かどうかを本人には尋ねませんでした。今度どこかで出会った時にでも、確かめたいものだと思っています。

▶数字で見る市勢
※５月１日現在
※（　）内は前月比

人口	40,749人(+16人)		
男	19,912人(+13人)		
女	20,837人(+ 3人)		
世帯	11,463世帯(+ 9世帯)		
4月中の出生	30人	死亡	29人
4月中の転入	118人	転出	103人

編集ルーム

◎４月から広報コミュニティ係に新加入した（も）です。よろしくお願いします。◎風薫る５月が過ぎて、『凧風』に胸躍る６月の到来。市外出身のわたしですが、初めて凧合戦で綱を引かせてもらったときの興奮は、今でも忘れられません。どちらかといえば綱に引っ張られていたのですが…。◎皆さんに身近な情報、役立つ情報を分かりやすくお伝えするようがんばります！（も）

■編集／白根市企画財政課広報コミュニティ係（〒950-1292 新潟県白根市大字白根1235番地 ☎025-373-2111 FAX 025-373-3933）
ホームページアドレスhttp://www.city.shirone.niigata.jp　Ｅメールinfo@city.shirone.niigata.jp
■印刷／富士印刷㈱